

みよし市まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPIの検証

S:達成割合≥100%
 A:100%>達成割合≥80%
 B:80%>達成割合≥60%
 C:60%>達成割合

基本目標	基本的施策	数値目標・KPI		実績	H26年度 (基準値)	令和元年度 (目標値)	達成割合	
				令和元年度末			実績(令和元年度末)÷ 目標値(令和元年度)	評価
I 安心して 子育てできる 環境づくり		子育て支援の満足度(%)		39.9%	52.4%	58.0%	69%	B
		教育の充実の満足度(%)		41.7%	56.3%	62.0%	67%	B
	①結婚・出産の 希望に関する支 援	男女の出会いの場参加者数(人)		53	-	100	53%	C
		男女の出会いの場参加者による結婚成立組数(累計)(組)		5	-	15	33%	C
		出生数(人)		546	656	690	79%	B
		婚姻率(%)		5.2%	5.7%	6.0%	87%	A
	②子ども・子育て に関する支援	児童館・集会所 年間延べ利用者数(人)		100,623	132,294	135,000	75%	B
		子育てふれあい広場年間延べ利用親子組数(組)		24,670	21,400	30,000	82%	A
		休日保育利用者数(人)		464	134	650	71%	B
		子ども会加入率(%)		79%	84%	90%	88%	A
	③学校教育の充 実	少人数学級(35人学級)の実施状況	小学校	全学年	小学校第1～3学年	小学校第1～4学年	100%	S
			中学校	全学年	中学校第1学年	中学校第1～2学年	100%	S
		学校評価アンケートで「学校は楽しい」と回答した児童生徒の割合(%)	小学校	92.0%	92.1%	95%	97%	A
			中学校	88.5%	89.5%	92%	96%	A
		普通教室への空調機器設置率(%)	小学校	100%	-	100%	100%	S
			中学校	100%	-	100%	100%	S
	④仕事と生活の 調和に関する支 援	放課後児童クラブ年間利用児童数(人)		491	376	480	102%	S
		3歳未満児入園者数(人)		395	310	430	92%	A
		就労支援セミナーの開催(回)		12	-	10	120%	S

みよし市まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPIの検証

S: 達成割合 ≥ 100%
 A: 100% > 達成割合 ≥ 80%
 B: 80% > 達成割合 ≥ 60%
 C: 60% > 達成割合

基本目標	基本的施策	数値目標・KPI	実績	H26年度 (基準値)	令和元年度 (目標値)	達成割合	
			令和元年度末			実績(令和元年度末)÷ 目標値(令和元年度)	評価
Ⅱ 暮らしたい と思える環境 づくり		緑豊かで快適な美しいまちづくりの満足度(%)	46.9%	68.4%	74.0%	63.4%	B
		安全で快適な住環境が整ったまちづくりの満足度(%)	33.4%	57.5%	63.0%	53.0%	C
	① 多様な世代を 誘引する仕組み づくり	住宅着工件数(棟)	243	379	380	63.9%	B
		転入・転出人口比率(%)	95.0%	99.6%	102.0%	93.1%	A
		起業・創業件数(累計)(件)	21	0	3	700.0%	S
		新たな進出企業数(累計)(件)	1	0	2	50.0%	C
	② 公共交通ネッ トワークの確保	さんさんバス利用者数(人)	280,590	269,786	272,000	103.2%	S
		名鉄バス利用者(人)	41,223	40,513	42,000	98.2%	A
		駅乗降者数(黒笹駅・三好ヶ丘駅)(人)	4,833,749	4,257,538	4,410,000	109.6%	S
		公共交通対策の満足度(%)	33.4%	40.0%	55.0%	60.7%	B
	③ 安全・安心な まちづくり	防災訓練参加率(%)	28.2%	17.2%	20.0%	141.0%	S
		防災ラジオ普及台数(累計)(台)	1,855	-	1,000	185.5%	S
		耐震診断実施件数(累計)(件)	857	526	930	92.2%	A
		耐震改修補助件数(累計)(件)	155	119	270	57.4%	C
		防犯灯設置数(累計)(基)	2,396	2,200	2,350	102.0%	S
		安全のみどり線延長距離(m)	14,347	7,772	17,000	84.4%	A
	④ 魅力と活力の あるまちづくり	シティプロモーション動画閲覧数(累計)(回)	32,286	-	4,000	807.2%	S
		NPO法人数(法人)	10	13	18	55.6%	C
		図書館来館者数(人)	269,905	80,556	289,000	93.4%	A

みよし市まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPIの検証

S: 達成割合 ≥ 100%
 A: 100% > 達成割合 ≥ 80%
 B: 80% > 達成割合 ≥ 60%
 C: 60% > 達成割合

基本目標	基本的施策	数値目標・KPI	実績	H26年度 (基準値)	令和元年度 (目標値)	達成割合	
			令和元年度末			実績(令和元年度末)÷ 目標値(令和元年度)	評価
Ⅲ 誰もが健康に暮らせる環境づくり		福祉対策の充実の満足度(%)	39.2%	54.7%	60.0%	65.3%	B
		保健・医療対策の充実の満足度(%)	45.3%	66.3%	72.0%	62.9%	B
	① 健康づくりの支援	要介護(要支援)認定を受けていない高齢者の割合(%)	87.4%	88.2%	89.0%	98.2%	A
		地域包括支援センターの設置数(ヶ所)	3	1	3	100.0%	S
		総合体育館トレーニングルームの年間利用者数(人)	18,528	4,213	10,000	185.3%	S
		都市公園の供用面積(ha)	54.99	51.81	55	99.98%	A
	② 生きがいつくりの支援	生涯学習講座数(講座)	202	160	200	101.0%	S
		生涯学習講座受講者数(人)	2,334	2,563	4,500	51.9%	C
		生涯学習活動団体数(団体)	104	96	100	104.0%	S
		生涯学習活動人数(人)	1,918	1,914	2,000	95.9%	A
		発表会等行事参加団体数(団体)	123	115	120	102.5%	S
		発表会等行事参加者数(人)	15,907	9,576	10,000	159.1%	S
		福祉ボランティアの活動件数(件)	283	314	330	85.8%	A
		シルバー人材センターの登録会員数(人)	367	367	405	90.6%	A

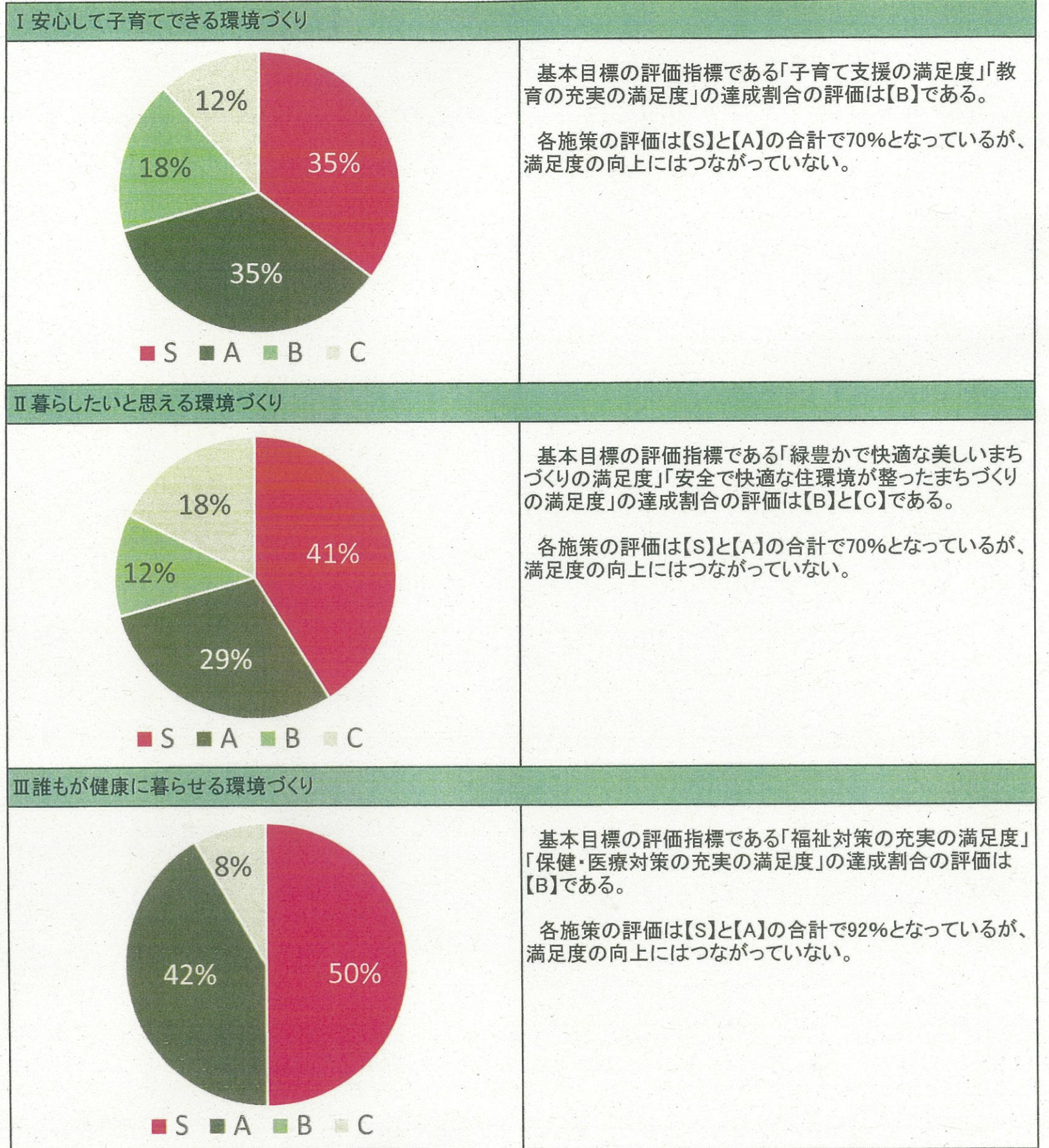
みよし市まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPIの検証〈総括〉

基本目標	評価指標	評価
I 安心して子育てできる環境づくり	子育て支援の満足度	B
	教育の充実の満足度	B
II 暮らしたいと思える環境づくり	緑豊かで快適な美しいまちづくりの満足度	B
	安全で快適な住環境が整ったまちづくりの満足度	C
III 誰もが健康に暮らせる環境づくり	福祉対策の充実の満足度	B
	保健・医療対策の充実の満足度	B

施策の評価

	S	A	B	C	合計
I 安心して子育てできる環境づくり	6	6	3	2	17
	35%	35%	18%	12%	100%
II 暮らしたいと思える環境づくり	7	5	2	3	17
	41%	29%	12%	18%	100%
III 誰もが健康に暮らせる環境づくり	6	5	0	1	12
	50%	42%	0%	8%	100%
合計	19	16	5	6	46
	41%	35%	11%	13%	100%

S: 達成割合 ≥ 100%
 A: 100% > 達成割合 ≥ 80%
 B: 80% > 達成割合 ≥ 60%



第2期総合戦略に向けた方向性

■みよし市の強み	・自動車関連企業が近くにある、名古屋市の通勤圏 ・男性は製造業、卸売業・小売業、建設業が多く、女性は製造業、医療・福祉、卸売業・小売業が多い	➡	働く場が豊富
	・自然が豊か、公園が多い	➡	緑豊かな居住環境
	・道路網が充実	➡	近隣及び遠方へのアクセスが容易
	・出生数が減少傾向にあるものの、合計特殊出生率は愛知県平均よりも高い ・未婚率は増加傾向にあるものの、全国平均よりも低い ・社会増よりも自然増の方が多い	➡	子育て環境の充実により定住化への期待が持てる
■みよし市の弱み	・核家族世帯割合が高い ・持ち家率は近隣市町に比べやや低い	➡	超長期的な人口の安定には弱い
	・昼夜間人口比率は1.0以上であるが減少傾向 ・転入数は横ばいだが、転出数が増加傾向のため社会増が減少傾向となっている ・近隣市町からの転入・転出状況では、豊田市、刈谷市、豊明市からは転入超過（社会増）となっているが、日進市、東郷町、岡崎市、長久手市、天白区、緑区へは転出超過（社会減）となっている。	➡	5年前と比べて吸引力が弱くなっている

【方向性】

- ・3つの基本目標すべてにおいて達成されていないため、基本目標は第1期を踏襲する。
- ・特に「安全で快適な住環境が整ったまちづくりの満足度」が満足度の項目で最も低いため、基本目標2「暮らしたいと思える環境づくり」を中心に強化する。
- ・みよし市の強みを活かし、「企業との連携」や「新産業集積」、「子育て」に関する施策を充実させる。
- ・長期的な人口の安定に向けて、シビックプライドの醸成に向けた施策を充実させる。

→ 提示している4つの方向性についてご意見を伺いたいと思います。

【新たな視点】

AI や Society5.0 の視点

IoTにより、全ての人とモノがつながり様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値観を生み出すことや、AI（人工知能）により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、社会課題の克服を目指しています。

このような社会の変革（イノベーション）を通じて、世代を超えて互いに尊重し合あえる社会、一人一人が快適で活躍できる社会を目指します。

今までにはない視点

- ・関係人口、交流人口※
- ・MaaSの推進
- ・地域コミュニティの形成
- ・多文化共生の地域づくり
- ・テレワーク推進企業の発掘
- ・学校教育の充実
- ・新しい生活様式

※関係人口とは、地域内にルーツがある者や過去に勤務・居住などしていた者です。交流人口とは、観光などで来る者を指します。

SDGs の視点

平成27年（2015年）に国際連合で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」では、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を掲げています。そのため、だれもが役割を持ち活躍できる地域社会の実現のため、市民団体や大学、民間企業等の多様なまちづくりの担い手が活躍することを目指しています。

基本目標ごとの検証結果

1 基本目標Ⅰ 安心して子育てできる環境づくり		「子育て支援の満足度」及び「教育の充実の満足度」は、ともに実績値が令和元年度目標に届かず、基準値よりも下回っている。			
基本的施策	評価	第2期総合戦略に向けた考え方	【検討 KPI】	今後の検討施策（例）	
① 結婚・出産の希望に関する支援	S	なし	<ul style="list-style-type: none"> ①結婚・出産の希望に関する支援についても、「出生数」「婚姻率」の向上につながっていないので、施策・事業の見直しが必要と考えています。 ③学校教育の充実で、「学校は楽しいと答えた児童の割合」があるが、学校においては、1割の子どもが不幸でも9割満足なら OK というということではないことや満足度を高めるためには、いじめや不登校の減少（解消）など別の視点での目標設定が必要であると考えています。 基本目標Ⅰのアウトカムとして、「満足度」だけを採用するのではなく、「出生数」「婚姻率」「不登校児童数」「子育て支援サービスの充足率（利用者/対象人口）」などを設定することを考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> 合計特殊出生率 不登校児童数 図書館数 子育て支援サービスの充足率 子ども預かり事業利用者数 	<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療の支援 双子世帯への取組 いじめや不登校の減少に向けた支援 学校図書館の充実支援 ICTによる教育の充実 SNSを活用した子育てコミュニティ形成支援 子育て環境整備支援
	A	「婚姻率」			
	B,C	「男女の出会いの場の参加者数」「男女の出会いの場参加者による結婚成立組数」「出生率」			
② 子ども・子育てに関する支援	S	なし			
	A	「子育てふれあい広場年間延べ利用親子組数」「子ども会加入率」			
	B,C	「児童館・集会所年間延べ利用者数」「休日保育利用者数」			
③ 学校教育の充実	S	「少人数学級の実施状況」「普通教室への空調機器設置率」			
	A	「学校評価アンケートで（学校は楽しい）」			
	B,C	なし			
④ 仕事と生活の調和に関する支援	S	「放課後児童クラブ年間利用児童数」「就労支援セミナーの開催」			
	A	「3歳未満児入園者数」			
	B,C	なし			
2 基本目標Ⅱ 暮らしたいと思える環境づくり		「緑豊かで快適な美しいまちづくりの満足度」及び「安全で快適な住環境が整ったまちづくりの満足度」は、ともに実績値が令和元年度目標に届かず、基準値よりも下回っている。			
基本的施策	評価	第2期総合戦略に向けた考え方	【検討 KPI】	今後の検討施策（例）	
① 多様な世代を誘引する仕組みづくり	S	「起業・創業件数」	<ul style="list-style-type: none"> ①多様な世代を誘引する仕組みづくりとして、企業進出や起業・創業などが進められているが、人口社会増にはつながっていない、職場があることが人口増・人口定着の要因になっていません。 ②公共交通ネットワークの確保として、さんさんバスなどの諸施策が進められているが、「公共交通対策の満足度」や「安全で快適な住環境が整ったまちづくりの満足度」の向上にはつながっていない。公共交通の質の向上を目指すことが必要。モビリティに MaaS の概念を取り入れ移動のしやすさを強化する施策の検討も必要であると考えています。 ③安全・安心なまちづくりとして、各種防災対策が進められているが、「安全で快適な住環境が整ったまちづくりの満足度」の向上にはつながっていません。 「緑豊かで快適な美しいまちづくりの満足度」については、どのような施策でその向上を図ろうとしているか。施策の検討が必要であると考えています。 「暮らしたいと思える環境づくり」の「環境」とは、①職場、②交通、③安全、④魅力の4要素としていわれるので、それぞれの成果指標を再検討すると良いと考えています。（例：①職場：市内での就業向上に関する指標：昼間人口比率など。） 	<ul style="list-style-type: none"> 昼間人口比率 製造品出荷額 創業社数 起業家数 公共交通満足度 空き家率 女性管理職割合 	<ul style="list-style-type: none"> 関係人口、交流人口の増加施策 インターンシップ支援 起業のための説明相談会 起業版 BCP 策定支援 市内産業の啓発 テレワーク推進企業の発掘 MaaS の推進 空き家対策 女性が働きやすい企業を育てる 地域防災の推進 多文化共生の地域づくり推進
	A	「転入・転出人口比率」			
	B,C	「住宅着工件数」「新たな進出企業数」			
② 公共交通ネットワークの確保	S	「さんさんバス利用者数」「駅乗降者数（黒笹駅・三好ヶ丘駅）」			
	A	「名鉄バス利用者」			
	B,C	「公共交通対策の満足度」			
③ 安全・安心なまちづくり	S	「防災訓練参加率」「防災ラジオ普及台数」「防犯灯設置数」			
	A	「耐震診断実施件数」「安全のみどり線延長距離」			
	B,C	「耐震改修補助件数」			
④ 魅力と活力あるまちづくり	S	「シティプロモーション動画閲覧数」			
	A	「図書館来館者数」			
	B,C	「NPO 法人数」			
3 基本目標Ⅲ 誰もが健康に暮らせる環境づくり		「福祉対策の充実の満足度」及び「保健・医療対策の充実の満足度」は、ともに実績値が令和元年度目標に届かず、基準値よりも下回っている。			
基本的施策	評価	第2期総合戦略に向けた考え方	【検討 KPI】	今後の検討施策（例）	
① 健康づくりの支援	S	「地域包括支援センターの設置数」「総合体育館トレーニングルームの年間利用者数」	<ul style="list-style-type: none"> ①健康づくりの支援は、全て S、A 評価であるにもかかわらず、「福祉の満足度」は向上していない。「誰もが健康に暮らせる環境づくり」という基本目標であることから、スポーツ施設の利用増が健康増進につながっているといえる目標の設定が必要だと考えています。（例：運動習慣者の割合の増加など：これは健康日本 21 の目標でもあるので連動可能であります）。 ②生きがいづくりに関しては、「福祉対策の充実の満足度」「保健・医療対策の充実の満足度」のいずれにもつながっていないと考えられるため、再検討が必要であると考えています。 公園の充実健康面での効果もあるとされているので、1人あたりの公園面積などをアウトカム指標として検討が必要であります。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命 1人あたりの公園面積 スポーツ実施率 	<ul style="list-style-type: none"> 健康アプリの開発 健康医療分野の課題に取組支援 ポイント制度の充実 支え合う地域コミュニティ形成の推進 地域包括ケアシステムの推進 地域スポーツ振興事業 チャレンジデーの実施
	A	「要介護（要支援）認定を受けていない高齢者の割合」「都市公園の供用面積」			
	B,C	なし			
② 生きがいづくり	S	「生涯学習講座数」「生涯学習活動団体数」「発表会等行事参加団体数」「発表会等行事参加者数」			
	A	「生涯学習活動人数」「福祉ボランティアの活動件数」「シルバー人材センターの登録会員数」			
	B,C	「生涯学習講座受講者数」			

各目標に合、今後の検討施策について
ご意見いただきたいと思います。

第2期総合戦略近隣自治体基本目標一覧

自治体	国	愛知県	名古屋市
基本目標	【1】 <u>稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする</u>	【1】 しごとづくり	【1】 「産業競争力を活かして成長を続けるまちへ」
	【2】 <u>地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる</u>	【2】 魅力づくり	【2】 「観光交流の推進によるにぎわいあふれるまちへ」
	【3】 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	【3】 人の流れづくり	【3】 「若い世代の希望がかなうまちへ」
	【4】 <u>ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる</u>	【4】 結婚・出産・子育て環境づくり	【4】 「高齢者がはつらつとして暮らせるまちへ」
	【横断的な目標1】 <u>多様な人材の活躍を推進する</u>	【5】 暮らしの安心を支える環境づくり	
	【横断的な目標2】 <u>新しい時代の流れを力にする</u>	【6】 活力ある地域づくり	
出典	第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」 2019年12月20日	第2期愛知県人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020年3月	名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略 改訂版 2020年3月

自治体	安城市	長久手市	知立市	豊川市
基本目標	【1】 <u>ひとづくり</u> <u>～健康で幸せに暮らし続ける～</u>	【1】 役割・しごとづくり 誰もが活躍できる役割・しごとをつくる	【1】 <u>稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする</u>	【1】 しごとづくり
	【2】 <u>しごとづくり</u> <u>～新しい時代の流れを力にし、安定した雇用を維持する～</u>	【2】 子育て支援 子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる	【2】 <u>関係機関等との多様なつながりを築き、新しいひとの流れをつくる</u>	【2】 ひとの流れづくり
	【3】 <u>まちづくり</u> <u>～みんなで作る住みたい、住みつけたいまち～</u>	【3】 地域コミュニティ・地域福祉 地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる	【3】 結婚・出産・子育ての環境を整える	【3】 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会づくり
		【4】 観光交流 地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる	【4】 <u>ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる</u>	【4】 安全で快適に暮らせるまちづくり
			【横断的な目標1】 <u>多様な人材の活躍を推進する</u>	
			【横断的な目標2】 <u>新しい時代の流れを力にする</u>	
出典	第2期 安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020年3月	第2期 長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020年	第2期 知立市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020年4月	第2期 豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020年3月

※基本目標の赤文字は第1期からの加筆された内容、下線赤文字は変更された内容

まとめ

1. 国は第1期を踏襲しつつ強化すべき内容を加筆し、横断的な目標を追加
2. 愛知県は第1期と同様
3. 近隣自治体は、第1期と同様、または、第1期を踏襲しつつ強化すべき内容の加筆（横断的な目標を追加している自治体もある）

みよし市の人口ビジョンの検証と第2期みよし市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

第1期みよし市人口ビジョン (2016年)



出典)みよし市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(2016年3月)P.8

将来人口の推計にあたり、採用した仮定値は以下のとおり。

第1期人口ビジョンにおいては、合計特殊出生率・移動率を変数としたシミュレーションの結果、以下の考察により、【合計特殊出生率及び移動率の維持＝自然増を促進し社会減を抑制】を目指すべき方向とした。

- 合計特殊出生率については国と同様に人口置換水準である2.07を目指すことも考えられるが、合計特殊出生率が低下しても人口増加となる(社人研推計)ことから、県のビジョン(1.8目標)も踏まえて1.81の維持を目標とすることが現実的である。
- 2008～2013年の移動率は鈍化傾向にあるが、国全体が人口減少している中で、大幅な移動率の上昇＝社会増を見込むことは非現実的である。

この結果、人口の将来展望として、2060年に64,000人の人口規模を維持し、2045年にピーク人口66,000人を目指すものとした。

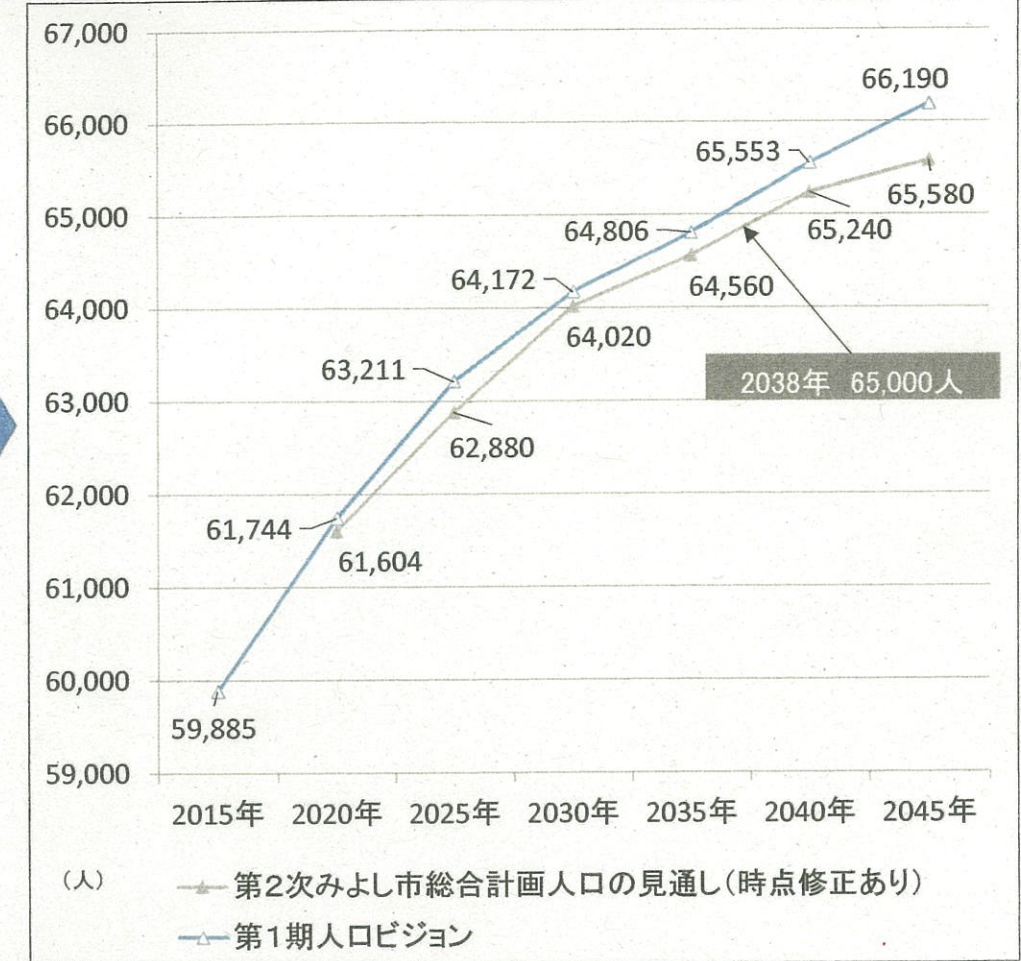
みよし市の現状

1. 自然増減
 - (1) 出生
 - 2003年をピークに概ね減少傾向
 - (2) 死亡
 - 緩やかな増加傾向
 - (3) 合計特殊出生率
 - 1.81で国・県より高いが、人口維持に必要な2.07より低い

→自然増(出生>死亡)が続いているが、縮小傾向(2018年:200人)
2. 社会増減
 - (1) 転入
 - 増減を繰り返しながら平均約3,200人で推移
 - (2) 転出
 - 増加傾向

→社会増(転入>転出)が続いているが、縮小傾向(2018年:91人)
3. その他
 - (1) 区画整理
 - 1971年以降、9地区(約479ha)で土地区画整理事業を実施。現在、三好中部地区(12ha)を施行中
 - (2) 住宅地
 - 地目別土地利用で宅地が29%
 - 用途別土地利用で市街化区域33%、うち住居系19%
 - 一般世帯に占める割合で持ち家64%、一戸建59%、共同住宅40%
 - (3) 経済状況
 - 市財政(2017年度):財政力指数1.53(他市町に比べて高い)、実質公債費比率3.0%(健全度が高い)
 - 市民所得(2017年度):市民所得3,361億円(前年度比△6.4%)、家計所得2,406億円(前年度比△1.0%)

第2期みよし市人口ビジョン



第2期みよし市人口ビジョンの考え方

- 第2期みよし市人口ビジョンの策定年度が、第2次みよし市総合計画策定年度と近いこと
 - 住民基本台帳の実績値をベースにした推計では、第2次みよし市総合計画人口の見通しを若干上回る程度の推計人口となること(2038年65,766人)
 - 第2期総合戦略の策定により第2次みよし市総合計画の目標年次の65,000人を達成する
- 以上の理由から、第2期みよし市人口ビジョンは、第2次みよし市総合計画人口の見通しに沿うものとし、2038年に65,000人の人口を目指すものとする。

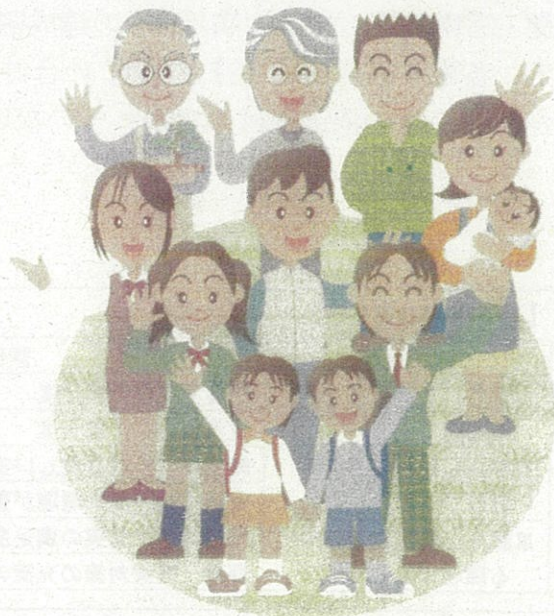
第2章 総合戦略

第1節 総合戦略の目的

地方創生は、出生率の低下によって引き起こされる人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的としています。国においては、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び今後5ヵ年の施策の基本的方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が2014（平成26）年12月27日に、それぞれ閣議決定されました。そして、第1期総合戦略の最終年にあたる2019（令和元）年6月21日に公表された「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」において、次期総合戦略の策定が明示され、令和元年12月20日に「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「継続は力なり」という姿勢を基本とし、より一層充実、強化していくとしています。その中で、4つの基本目標は「①稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする」、「②地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」、「③結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」とし、横断的な目標やSDGsを原動力とした考えを加え推進していくとしています。

「第2期みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「第2期総合戦略」とする。）は、この考え方を踏襲し、引き続き、安心して子育てできる環境の向上を図るとともに、暮らしたいと思える環境を整え、誰もが健康に暮らせる環境を充実させるため、国や県が策定する長期ビジョン、総合戦略などと連携して、まち・ひと・しごと創生に取り組む視点で計画します。

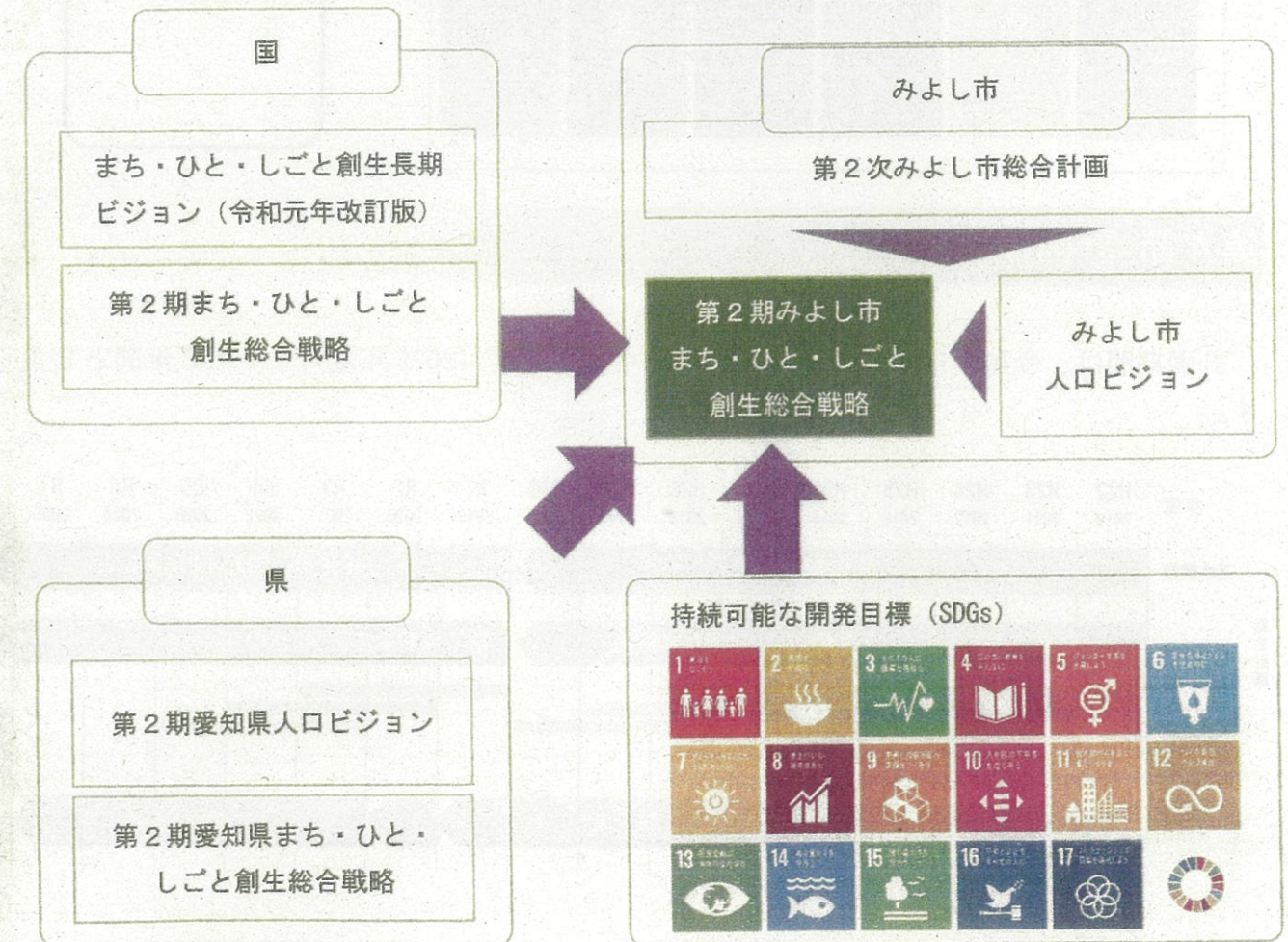


第2節 総合戦略の位置づけ

本総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法に基づき国が策定した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」及び「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」、愛知県が策定した「第2期愛知県人口ビジョン」及び「第2期愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、令和42（2060）年を目標年次とした「みよし市人口ビジョン」で示した将来展望や方向性を踏まえ、みよし市としての地方創生の基本目標を示し、これを実現するために重点的に取り組むべき施策の方向性を示すものです。

一方、平成27年（2015年）に国際連合で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」では、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を掲げています。そのため、だれもが役割を持ち活躍できる地域社会の実現のため、市民団体や大学、民間企業等の多様なまちづくりの担い手が活躍することを必要とされます。また、近年急激に進展しているIoTやAIなどの技術的革新をあらゆる産業や社会生活に取り入れることで社会課題を解決するsociety5.0の実現に向けて未来技術を積極的に活用することも必要であります。

そこで、国が提示する「まち・ひと・しごと創生に向けた政策5原則（1）自立性、（2）将来性、（3）地域性、（4）総合性、（5）結果重視」と「society5.0」「持続可能な開発目標（SDGs）」に対応した施策を位置づけるものとします。

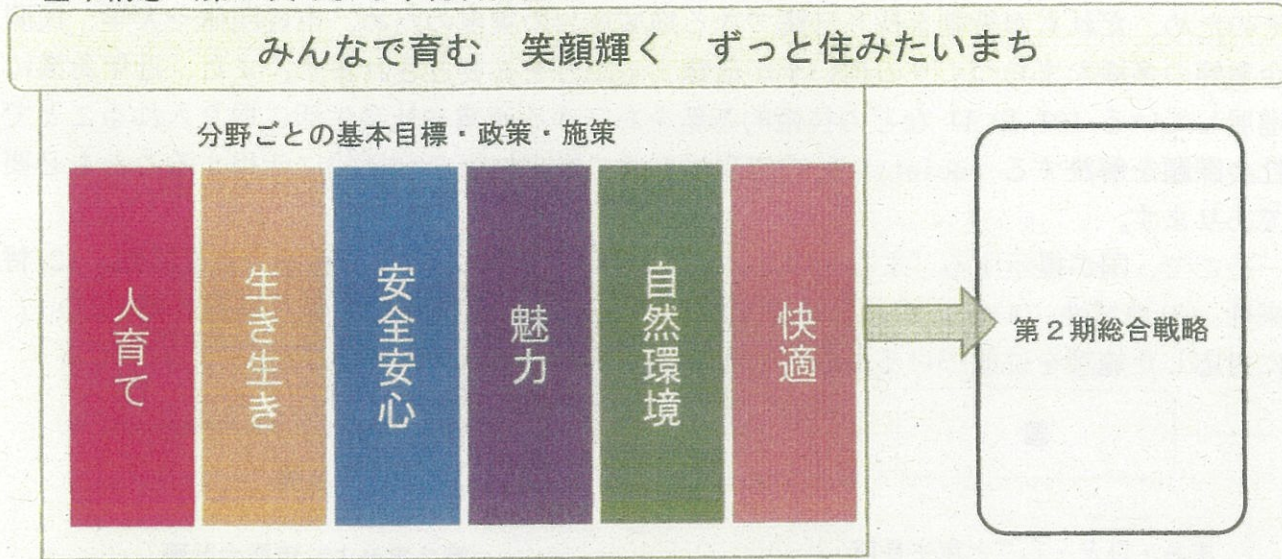


第3節 総合計画との関係性

第2次みよし市総合計画（以下、「総合計画」とする。）は、【みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち】を将来像に掲げ、令和元年度から令和20年度を計画期間として、平成31年3月に策定しました。

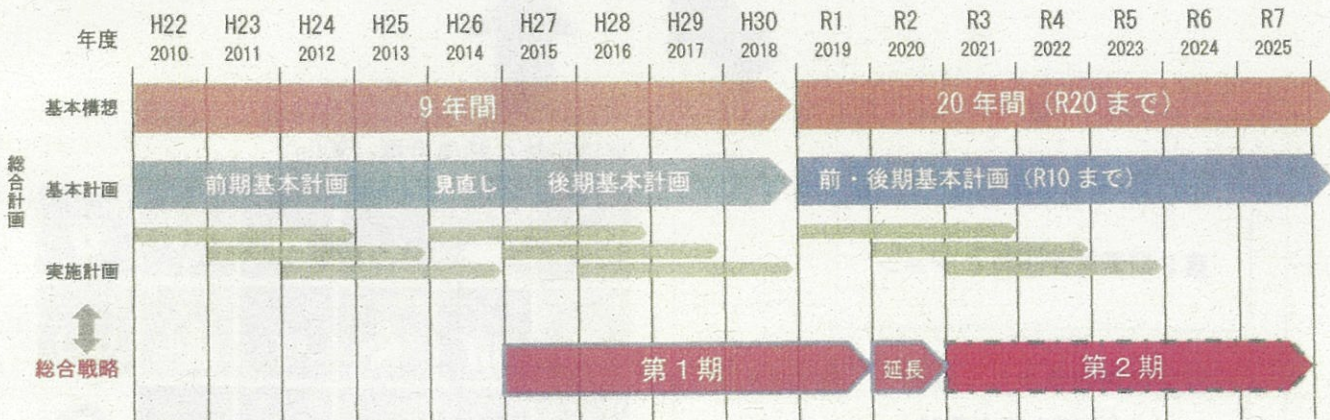
第2期総合戦略は、総合計画を上位計画とし、その他各分野の個別計画との整合を図りながら策定するものです。第2期総合戦略に位置付けた施策の方向性や事業については、総合計画の基本計画で示した施策に関連させ、計画的に推進していきます。

基本構想（第2次みよし市総合計画）



第4節 計画期間

計画期間は、令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）までの5年間とします。



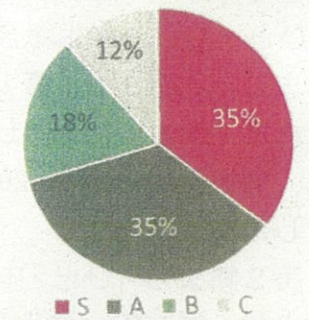
第5節 第1期総合戦略検証

第2期総合戦略では、基本目標として●個の重点戦略を設定するとともに、政策の進捗を客観的に検証できる●個の数値目標、●項目の重要業績評価指標（KPI）を設定しています。本市の目指す姿の実現に向け、みよし市まち・ひと・しごと創生会議において外部有識者などの意見を踏まえ、数値目標の達成状況などを検証します。

第1期総合戦略検証結果

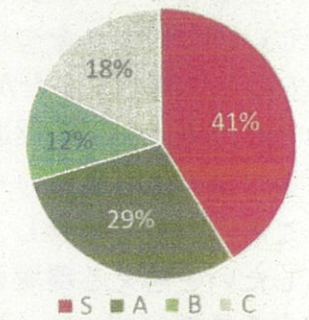
I 安心して子育てできる環境づくり

基本目標の評価指標である「子育て支援の満足度」「教育の充実の満足度」の達成割合の評価は【B】である。各施策の評価は【S】と【A】の合計で70%となっているが、満足度の向上にはつながっていない。



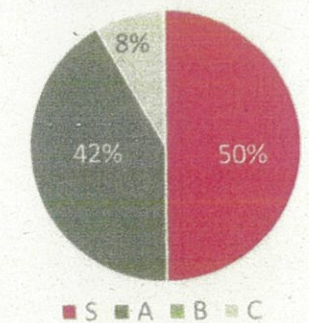
II 暮らしたいと思える環境づくり

基本目標の評価指標である「緑豊かで快適な美しいまちづくりの満足度」「安全で快適な住環境が整ったまちづくりの満足度」の達成割合の評価は【B】と【C】である。各施策の評価は【S】と【A】の合計で70%となっているが、満足度の向上にはつながっていない。



III 誰もが健康に暮らせる環境づくり

基本目標の評価指標である「福祉対策の充実の満足度」「保健・医療対策の充実の満足度」の達成割合の評価は【B】である。各施策の評価は【S】と【A】の合計で92%となっているが、満足度の向上にはつながっていない。



【基本目標評価指標】

基本目標	評価指標	評価	S：達成割合≥100% A：100%＞達成割合≥80% B：80%＞達成割合≥60% C：60%＞達成割合
I 安心して子育てできる環境づくり	子育て支援の満足度	B	
	教育の充実の満足度	B	
II 暮らしたいと思える環境づくり	緑豊かで快適な美しいまちづくりの満足度	B	
	安全で快適な住環境が整ったまちづくりの満足度	C	
III 誰もが健康に暮らせる環境づくり	福祉対策の充実の満足度	B	
	保健・医療対策の充実の満足度	B	

第6節 第2期総合戦略への方向性

第1期総合戦略の検証結果に基づくと、基本的な考え方は第1期の基本目標を踏襲することとします。

第7節 全体の体系（基本目標まで）

第2期総合戦略では、第1期総合戦略の基本目標を踏襲することとします。

■基本目標1

安心して子育てできる環境づくり

～安心して子どもを産み・育てることができる環境をみんなで築く～



■基本目標2

暮らしたいと思える環境づくり

～住んでみたい、住みやすい環境をみんなで築く～



■基本目標3

誰もが健康に暮らせる環境づくり

～子どもから高齢者まで主体的な健康づくりができる環境をみんなで築く～



「2030年までに達成すべき17の目標」と「第2期総合戦略基本目標」との関連

SDGs「2030年までに達成すべき17の目標」と「第2期総合戦略基本目標」との関連を整理しました。

- ①安心して子育てできる環境づくり
- ②暮らしたいと思える環境づくり
- ③誰もが健康に暮らせる環境づくり



No.	項目	内容	第2期総合戦略基本目標との関連		
			①	②	③
1	貧困を無くそう	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	●	-	-
2	飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	●	-	-
3	すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	●	-	●
4	質の高い教育をみんなに	全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	●	-	●
5	ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う	●	●	-
6	安全な水とトイレを世界中に	全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	-	●	-
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	-	●	-
8	働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する	●	●	-
9	産業と技術革新の基礎をつくらう	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	-	●	-
10	人や国の不平等をなくそう	各国内及び各国間の不平等を是正する	-	●	-
11	住み続けられるまちづくりを	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する	-	●	-
12	つくる責任つかう責任	持続可能な生産消費形態を確保する	-	●	-
13	気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	-	●	-
14	海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	-	●	-
15	陸の豊かさも守ろう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	-	●	-
16	平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	●	-	-
17	パートナーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	●	●	●

SDGs ウェディングケーキモデル

SDGsの目標17をケーキの頂点として、その下にある3つの階層「経済」「社会」「環境」によって構成されています。

3つの階層の並び方には意味があり、「経済」の発展は、生活や教育などの社会条件によって成り立ち、「社会」は最下層の「環境」、つまりは人々が生活するために必要な自然の環境によって支えられていることを表しています。

SDGs ウェディングケーキモデルと第2期総合戦略施策との関連

